

令和2年度知立市一般会計補正予算（第8号）に係る新型コロナウイルス感染症対策事業の概要について

事業名及び内容	予算額
1 タブレット端末を用いた議会運営事業（議事課） 議会フロアのWi-Fi化を図り、全議員及び議会事務局にタブレット端末を配備し、新型コロナウイルス感染症の状況により一堂に会して会議を行うことができない環境下においても、在宅や隔離先等においてオンライン会議を開催するなど、議会機能の低下及び議会フロアの三密を防ぐとともに、各議員への連絡調整、参考資料の利用をタブレットのみで完結できるよう、グループウェア及びペーパーレス会議システムを導入するなどの環境整備を図る。	8,398千円
2 サテライトキャンパス設置事業費補助事業（企画政策課） 知立市と連携・協力等に関する協定を締結した大学等が、新型コロナウイルス感染症対策のために行う、知立市内でのサテライトキャンパス設置事業について補助金を交付し、その取組を支援する。	287千円
3 ひとり暮らし高齢者の実態調査に係る物資提供事業（長寿介護課） 毎年10月から12月にかけて実施しているひとり暮らし高齢者の実態調査について、実施する民生委員に対し、新型コロナウイルス感染症対策のため、フェイスシールドを配布する。	47千円
4 介護保険事業所物資提供事業（長寿介護課） 新型コロナウイルス感染症の感染リスクを負いながらも、支援が必要な高齢者へのサービス提供を継続している市内の介護保険サービス事業所に対し、サービス提供の際に必要な物資（グローブ）を配布する。	458千円
5 移動支援事業の受入体制強化事業（福祉課） 移動支援事業を運営する事業所において、消毒液やマスクの購入など、新型コロナウイルス感染症対策に要した経費を補助することで、これらのサービスを提供する事業所における受入体制の強化を支援する。	339千円 うち一般財源額 86千円

6 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業交付金事業（子ども課） 国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業交付金を活用し、公立、私立及び小規模保育所、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター並びに児童クラブが行う、感染症対策の徹底を図りながら事業を継続するために必要となる、いわゆる「かかり増し経費」や、マスク、消毒液等の衛生製品や感染防止のための備品購入等を支援する。	15, 135千円 うち一般財源額 0千円
7 遺体安置所感染症対策資機材整備事業（市民課） 新型コロナウイルス感染症に罹患の可能性がある身元不明遺体を安置する際、公共空間の二次感染を防ぐため、特殊フィルム製の遺体収納搬送袋等を配備する。	545千円
8 中小企業者等家賃支援補助事業（経済課） 新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響により売上が減少する中、市内で土地、建物を賃借して事業を行っている事業者を支援する目的で、国の家賃支援給付金の支給を受けた中小企業者等に10万円を交付し、家賃支援を行う。	20, 000千円
9 避難所感染症対策資機材整備事業（安心安全課） 新型コロナウイルス感染症禍における各避難所の感染症対策として、不衛生な環境を防止する観点から、使用したマスクやゴム手袋等の衛生用品を廃棄し、トイレ機能も兼ね備えた廃棄物処理機等を各避難所へ配備するとともに、感染症対策として購入した物品等を備蓄、収納等するため、新たに防災備蓄倉庫を設置する。	14, 533千円
1～9の新型コロナウイルス感染症対策事業に係る事業費・・・①	59, 742千円
①の事業費のうち、一般財源額の合計額	44, 354千円